

「face to faceを科学する」月刊イベントマーケティング

EVENT 37

MARKETING

July 31, 2018

特集
注文の多い
“イベントの食”



今月のインタビュー
電通ライブ
取締役副社長執行役員 COO
内藤 純さん

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 5F
TEL03-6721-5303 sofu@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp



ケータリングでいろいろ仕掛けよう

今年こそは事前に準備を、と思ってもつい後回しになりがちなものの一つがケータリングの手配。どうしても出展や登壇者の調整など表舞台のことで頭がいっぱい。忘れないよう紙にメモするか、タスクに登録するか、方法はいろいろあるが結局は意識の問題かも。実はイベントの中でもっとも記憶に残るものは“食”の話ではないだろうか。今号はマン

ガも使って、わかりやすく、楽しくケータリングについて考えてみた。まず会期をカレンダーに○印をつけて計画するもよし、会場のムードから何がいいか、あれこれと想像するのもイベントづくりの楽しみではないか。場の空気を作るのも“食”の役目と考えると面白い発想がいくらかでも出そう。アイデアをみんなで考えることで、今一度イベントの

真の目的も確認できそう。思いつかなければ似たイベントが、どのように考え料理を提供しているか調べよう。もう一度競合分析を試みることで新たな気づきがあるかも。みんなの共通体験を作る“食”だからこそ、まず、そこから企画するのも一つの手。おいしいだけでなく、華やかさと楽しさを演出したり企業文化も語れる。イベント後に何をお

ぼえてるか? 多くの人が“食”と答えるだろう。その記憶定着を使わない手はない。いまや情報氾濫時代、限られた記憶容量の争奪戦だ。IT時代にイベントが増えているのは、ほかでもない、記憶に残すのに最高の手段だからだ。

さあ、“食”のこと、本気で考えよう。

(表紙・特集内イラスト=長野 亨)



あなたのアイデアが
ミライのイベントの
カタチになる

WE ARE HIRING!

オンラインプラットフォーム
EventRegist を活用した
ソリューション提案が主な業務です

詳細・応募はこちら
<http://eventregist.jp/career>

注文の多い“イベントの食”



『食べられる土』をつかった坂本シェフ



今年の春、横浜市瀬谷で行われたランイベント「Runtrip via」のイベントケータリングでは、『食べられる土』が登場し、参加者を驚かせた。瀬谷の地場野菜のじゃがいも、ごぼう、にんじんを、まるで土から掘り出して収穫しているかのようにそのままいただく。「Runtrip via」はアプリ連動型ソーシャル系ランイベントで、“コースは自由。ゴールで乾杯。”がコンセプト。都内や各所で行われている。この日、瀬谷で思い思いのコースを走り終えたランナーたちも、ゴール地点でいつものように食事とともに乾杯した。青空のもと、料理が盛り付けられたテーブルを囲むと、視線の先は『食べられる土』に集中する。「これ、食べられるのかな…」と半信半疑で、ワイワイと会話が盛り上がる。



う言葉のとおり、見た目だけでなく手ざわりまで土そのもの。バラバラと茹で鶏にかけて試食させていただいた。“土”の材料とレシピを聞いて、食べ物だと頭ではわかっているものの触覚と視覚が土と認識しているので、多少の勇気をもってパクッと頬張る。

ケータリングには、プロの道具を扱ってみたいという小さな願望もメニュー化されていて、カット生ハムではなく生ハム原木カット体験というメニューもあれば、ウシ・ヒツジ・シカ・イノシシの動物バーグという普段あまり食べる機会のない肉の食感や香りを楽しむメニューもある。大人のワクワクから子どもたちの食育まで、「食べるよろこびの追求」というコンセプトそのままに、さまざまな切り口、表現で食の可能性を広げる。

「!?っ」

「…おいしい！（笑）」

坂本さんは「イベントのなかで食のシーンは、初対面の会話のきっかけや、より親くなる親睦の場づくり、SNSに映える写真対象にもなる、コミュニケーションツール、コンテンツの一つなんです」と、どこでもモッテイクと話す。

どうして美味しいものはひとを笑顔にさせるんだらうというくらい、さっきまで緊張していた口元もほころぶ。「食べられる土はドライドレッシングなんです、見た目ですごい！、口に運んで“おいしいっ！”という経験はもちろん、“ほんとに食べられた！”って驚きの感情経験も含めて食の体験を提供します。Motakeはそんな体験型のケータリングなんです」（坂本さん）

五感で楽しむ 食の可能性

メニュー開発した Motake（モッテイク）の坂本英文シェフが「土の感じができるようにこだわって、よりリアルさを求めました」とい



収穫に見立てた「食べられる土」のサラダ（写真左）。ケータリングはテーブルセッティング込みで提案してくれる。セッティング自体を体験提供するメニューもある。ランイベント「Runtrip via」の主催者さん「食べられる土」を訝しげに触る（写真上）。

／ 食べられるのかな!? ホントに

キャストイング会社、どこでもいいやと思っ

累計キャストイング実績 **5,000**件 日本一便利なキャストイング会社です！

株式会社エイスリーは、タレント・芸人・俳優・モデル・歌手・アスリート・文化人・専門家・ノタレ・インフルエンサー・キャラクター等、幅広いジャンルのキャストを幅広い案件に最適マッチングします。必ずお役に立ちます！

- 1 スピード対応**
ご相談を頂いてから最短即日でご提案！
- 2 専門知識**
キャストイング会社ならではの情報力！
- 3 顧客視点**
課題解決の為にアイデア出しからサポート！
- 4 適正価格**
安く仕入れ、安く提供！低予算の案件もOK！

6つのチームが幅広い案件に対応します！インフルエンサーチーム / 広告チーム / 映像チーム / イベント&余興チーム / PR&エンタメチーム / プロフェッショナルチーム

株式会社エイスリー お問い合わせはこちら 〒107-0062 東京都港区南青山2-11-11 ユニマツトハイダウェイビル3F ☎ 03-3475-6042 ✉ info@mogmog.tv 🌐 http://herocasting.jp

事業拡大につき 人材大募集中!

分析好き × イベント好き × デジタル好き

集まれ!

デジタルの力でイベントをもっと楽しくしませんか?!



<https://www.bravesoft.co.jp/recruit/>
<https://eventos.tokyo/>

イベントス 検索



人事グループお問合せ 03-6809-6030 (平日 10:00 ~ 19:00) 株式会社 プレイソフト recruit@bravesoft.co.jp



高級冷凍食品が ブランド企業に愛されるワケ



人気の奥出雲牛のローストビーフ



自然素材でカラフルな4色のスープ

「日本一高い冷凍食品かもしれない」。“プレジュ”を展開するダノベータインターナショナルの糸川孝一さんは言う。食材ごとに異なる最適な冷凍方式を用い、食べる時間から逆算し解凍する。調理ができないイベントの場でも、高級レストラン品質の料理を提供できる。

地域活性化のため糸川さんは、地元農産物そのものを東京など大消費地に持ち込むレッドオーシャン市場でなく、調理済という付加価値をつけた高級な冷凍商品という新しいブルーオーシャン市場を選んだ。

監修するのはパリのマキシム（当時三ツ星）で副料理長を務めたダニエル・マルタンさんだ。名ばかりの監修ではなく、毎週オフィスに顔を出し、レシピだけでなく、各案件のメニュー構成やテーブルコーディネートまで考える。

ダニエル・ダンマルさんの口癖は「味、美しさ、装飾、雰囲気、どれも完璧でないとお客様に提供できない」周りの環境も含めすべてが素晴らしく揃いはじめてお客は満足するという。「企業のブランディングも同じではないでしょ

うか。たとえば高級車の周りには良質なものがそふさわしい。全体の空気づくりが大切。“食”はその大事なピースになれる」（糸川さん）。

企業イベントにプレジュを提供する同社の大橋和代さんは「ブランドがしたいのは製品の宣伝ではなくライフスタイルの提案で、料理を通して多くのメッセージを伝えられる」と言う。

欧州のファブリックメーカーの展示会では、オーガニックでかつ華やかさを出すために、自然素材でありながらカラフルにテーブルを飾るキャロット、ピーズなど4色のスープを提供し好評を得た。

糸川さんは「人の感情のスイッチを押すには、“食”が一番早い。おいしいかどうかは食べればすぐにわかるし、誰にでもわかる。美味しい場合限定ですけどね」と笑う。



ダニエル・マルタンさん（左）



株式会社ダノベータインターナショナル専務取締役 糸川孝一さん（右下）
常務取締役 大橋和代さん（下左）



インスタ映えは ケータリングが担当!?



SNS 映えのスイーツを提供するサービス「baelu」

マスメディアを招待して、イベントの様子を参加者以外に伝えてもらうのも主催者の大切な仕事。SNS なら小規模イベントでも簡単に情報拡散ができる。そこで重要なのが、画になるかどうか。ケータリングはイベントの味覚だけでなく、インスタ映え担当でもある。

ロージー・エンターテインメントの「baelu（映える）」は、SNS 解析データでよりすぐった“フォトジェニックスイーツ”を提供するサービス。企業のイメージカラーを使用したり、巨大化したりとオリジナルも提供できる。

stand up A guys

イベント成功の方程式 知っています。

おや？ お困りですか？
イベント担当に任命されたあなた。これはチャンスです。あなたの会社のこと、根拠り葉掘りお聞かせください。

TEL:03-5809-2709 www.event-suguyas.com/
株式会社 stand up A guys 〒111-0053 東京都台東区浅草橋 2-4-6 竹節ビル 2F



65 100%

電力
処理能力 需要

うちが何の仕事をしているかこれで伝わるかな？

施設やイベント会場のポテンシャルと、企画者の演出ニーズに合わせた電力設計をする、と補足しておきます。

株式会社 鈴木電機
〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-12-5
TEL 03(3842)8201 (代) FAX03(3845)3040
URL : http://www.suzukidenki.co.jp

感動体験

記憶に残る

“心地の良い上質環境”と“景観も含めた一体感のある空間”をプロデュース。ユニークベニューや各地の歴史・文化・景観もイベント要素に取り組みながら、大型テント内に、上質かつ心地よい各種のイベント空間をプロデュースします。

move

総合レンタル業のバイオニア
西尾レントオール株式会社 TOTAL POWER by NISHIO

お問い合わせ 〒108-0022 東京都港区海岸3-20-20 ヨコソーレインボータワー 1F
TEL : 03-5765-9240 FAX : 03-5765-3240
e-mail : mitsuyasu.ookubo@nishio-rent.co.jp (窓口：大久保)



トーク、試食、体験 「イベント」×「食」の専門イベント開催

CATERING LIVE TOKYO 2018 @ AP 新橋 8月22日



“食”のことは、 食べてから考えよう

どのようなケータリングが提供できるのか、実際に見たり聞いたり相談したい。そんな声に応えるのが、8月22日にAP新橋で開催される「CATERING LIVE TOKYO 2018」だ。主催の会議室.COM（運営会社はアスノシステム(株)）は、国内最大級の貸し会議室検索サイトで、会場運営やイベント主催者に役立つ情報を盛り込んだセミナーを定期的に開催している。共催は月刊イベントマーケティング、協賛は会場の運営管理を手がけるインフィールド、協賛は今回の会場 AP 新橋を運営するTCフォーラム、運営・進行は(株)stand up A guy'sと、会場・イベント関連各社が参画している。

よく食べ、よく見て、よく学び

ケータリング祭は、①試食・メニュー提案、②セミナー、③会場向け機器の展示、の3分野を各1フロアで展開。会場となるAP新橋の全3フロア貸切で開催する。

■ 試食・メニュー提案 (3F)

ケータリングのトップブランド各社がメニュー提案・テーブルコーディネートを競い合う。もちろん試食も各社自慢の料理を用意。イベント担当者の個別相談もできる。

■ ケータリングセミナー (4F)

“ケータリング進化論”をテーマに、美味しいだけでなくコミュニケーションツールとしての“食”を考える。(株)Yuinchu代表小野正視さん、Mortakeの坂本英文さん、「緑の木」の代表白羽玲子さんが登壇。そのほか、パネルディスカッションも企画している。

■ サプライヤーフロア (5F)

ケータリング以外にも、イベントのクオリティを向上させる演出・通信機器の展示とデモンストレーションを行う。

AP新橋は9月1日に正式オープンする新しい会場。内覧会とはべつに、全3フロアで展開するイベントに参加すれば、会場の下見にもなるかも。“食”を大切にイベント関係者は参加必須だ。

■ 開催会場 AP 新橋



■ 開催概要

名称：CATERING LIVE TOKYO 2018
主催：会議室.COM
会期：8月22日(水) 12:30～17:30 (予定)
会場：AP 新橋
来場：入場無料・事前登録制
対象：イベント主催者、企画運営会社、施設運営会社ほか

■ 基調講演①

「社会貢献の観点から考えるケータリング～小さな売上を生産者にどう届けるか」
緑の木 代表：白羽玲子さん
小規模事業者でもできる社会貢献として、緑の木の取り組みを紹介。



■ 基調講演②

「コミュニケーションツールとしての食を考える 体験型ケータリング (仮題)」
Yuinchu 代表取締役 小野正視さん (写真下左)
Mortake 事業部 坂本英文さん (写真下右)
どんな場所でも楽しみ彩る体験をお客様に実感して欲しい想いから外に持ち出すケータリングという形に行き着いた。



●参加ケータリングブランド

Catering Service
泉レストランケータリング

泉レストランケータリング
東京近郊のケータリングサービスならお任せください。安心と信頼の住友不動産グループ。シーンにあわせたこだわりのパーティーメニューで専任担当者がトータルサポート。(泉レストラン(株) 担当：佐藤 Tel: 03-3346-2208)

Hotel Continental

ホテルコンチネンタル
ホテル専属のシェフが、和食・洋食・中華それぞれ専用のキッチンで腕を振ります。主旨に合わせたお料理とゲストへのおもてなしを大切に、ご出席された皆様にご満足いくサービスを心掛けております。(株)エスパシオ 担当：田中英二 Tel: 042-333-7126)

CBSケータリング

CBSケータリング
No.1と言われないをモットーに日本一を目指しているケータリング企業です。和、洋、寿司、スイーツに特化した専門スタッフが常駐しております。お客様が求めるサービスをご提供できる自信があります。まずはご相談を！(株)シービーサービス 担当：藤原大樹 Tel: 03-5631-9530)

Maxpart

マックスパートケータリング
ホテルが手掛けるケータリングだからこそ、料理の品質、安全は勿論、多彩な出張シェフ料理、運営等もお任せください。懇親会開催の目的に沿って、専属コーディネーターがパーティーをトータルプロデュース致します。(株)マックスパート 担当：鈴木貴成 Tel: 03-6262-1091)

サンケイ会館

サンケイ会館ケータリング
ご予算や会合の趣旨、参加される年齢層や男女比など、お客様のご要望をお聞きした上で、最適なプランをご提案する完全オーダーメイドスタイル。質の高いサービスで、ご利用されるお客様のお腹も心も満たします。(株)サンケイ会館 担当：鈴木 Tel:03-5577-3818)

Ouhara

ケータリングサービスおり原
スタッフをお付けしたフルサービスでのケータリングの提供。思い出に残るお時間を会社内外で行われる懇親会や、パーティー等において、こだわりのお料理を提供しています。お客様一組一組のご要望にお応えいたします！(株)コーン 担当：村越健太 Tel: 03-6457-5195)

APORTE FOOD FACTORY

アポルテケータリングサービス
小規模パーティから各国駐日大使館のレセプション、4,000名規模の大イベントまで、様々なシーンで年間1,000件以上ご利用いただいております。お料理だけでなく全てをトータルプロデュースいたします。(株)アポルテフードファクトリー 担当：丹下 Tel: 044-712-0022)

FUORICLASSE

ケータリング FUORICLASSE
都内有名フランス料理店を経て渡欧、海外で感性を磨いたエグゼクティブシェフ二戸浩二が手掛ける、繊細なフィンガーフードをご堪能いただけます。また、多彩なテーブル装飾をイベントの趣旨等に添って提案致します。(株)Point World 担当：宮城育枝 Tel: 03-5284-4466)

Motake
quality catering to go out

Motake
「食」という体験に、もっと自由で、無限のアイデアを。様々なシチュエーションに合わせ「おいしい体験」を届けるというコンセプトのもと、ケータリングサービス「Motake (モッテイク)」を提供します。(株)Yuinchu 担当：坂本英文 Tel: 03-6408-9085)

●主催者・実行委員会

主催：会議室.COM
(運営会社：アスノシステム(株))

会議室.COM

ASNO SYSTEM INC.
アスノシステム株式会社

共催：月刊イベントマーケティング
協力：(株)インフィールド
会場提供：AP 新橋
(運営会社：(株)TCフォーラム)



Inauguration Speech

ドバイ国際博覧会にみる未来

2020年10月20日から6ヶ月間、U.A.E.(アラブ首長国連邦)ドバイ市で開催される「ドバイ国際博覧会」。その日本館総合プロデューサーに就任した内藤純氏に、今後の企画、万博のもつ役割についてうかがった

2020年 ドバイ国際博覧会 日本館総合プロデューサー
内藤 純さん 株式会社電通 ライブ取締役副社長執行役員 COO / 株式会社電通 電通ライブ局長

—これまでのキャリアと万博との関わりについて教えてください

内藤 大学では建築を学び、意匠デザインの道を志していました。広告業界に方向転換したのは、就職活動前にアルバイトをしていた建築事務所近くの本屋で「これからひとの集まる空間はハードだけでなく、ソフトが重要」といった内容の電通の空間戦略に関する記事に出会ったことがきっかけでした。

そうして電通に入社した1985年はつくば科学万博の年で、9月16日の最終日、某日本企業のパビリオンではそこにいた全員が上下関係なく、ビールを掛け合う姿をみて、最後にこうした光景がある仕事はいいな、万博の仕事がしたい、と感じた最初の記憶です。以降、展示会、ショールーム、店舗開発、都市開発など大型のイベントやスペースに携わりながら、万博

関係では1990年の国際花と緑の博覧会(大阪)JT館の総合プロデューサー、2005年の愛・地球博(愛知万博)トヨタグループ館の総合プロデューサー、2015年ミラノ万博日本館展示プロデューサーなど、国際博覧会でパビリオンのプロデュースをしてきました。

今回、2020年のドバイ万博では日本館の総合プロデューサーを務めます。

—ドバイ万博の日本館の企画はどのような構想のもと進められているのでしょうか

内藤 今回のドバイ万博のテーマは「Connecting Minds, Creating the Future (心をつなぎ、未来を創る)」です。ミラノ万博でのテーマだった「Feeding the Planet, Energy for Life (地球に食料を、生命にエネルギーを)」にくらべれば漠然としてある意味むずかしいというのが正直なところですが、捉え方の一つとして、ドバイという富裕層が多く、近隣諸国の国外からの参加が半数以上という、いわゆる中東におけるハブとされる場でこのテーマを掲げる意味をふまえ、日本館として日本人らしいつながり方とはなんだろうと考えています。日本には異文化を受け入れアレンジするという文化的特徴もあるし、自然の美しさや脅威の両面と対峙しながら生きる、ある種の寛容性、多様性という日本人がもっている独特のコンネクト感もある。そのような表現を模索しています。

もう一方では、つながりは目的ではなく手段でしかないため、つながった先に何を作り出すかが課題です。日本らしい共創の姿にも挑んでいきたいですね。

—いまの時代の万博の価値についてどのようにお考えでしょうか

内藤 電通ライブの「MOMENT OF TRUTH (真実の瞬間)」にも通じるんですが、180カ国以上のひとが集まり、感動体験をするという意味で、万博はまさに真実の瞬間の場だということを経験し、提供してきました。万博自体が今度どうなっていくべきかという、そのリアルな時空間をどうデジタル化して持ち帰ってもらうかは課題の一つで、2015年のミラノ万博ではアプリというカタチで実現しました。今回、トライしたいのはその先です。ライブマーケティングを標榜する弊社としては、属性や行動データなどをいかに次の万博の体験設計の最適化や社会につながるものにするか、万博のあり方や協賛する企業活動にプラスに活用できるか、といったことを検討しています。

—万博は空間表現やライブマーケティングの実験場でもあるのですね
内藤 博覧会を遡ると、1970年の大阪万博では丹下健三さん、黒川紀章さん、菊竹清訓さんなどの建築家や岡本太郎さんなど、その後、日本を代表するクリエイターの方々の登竜門となり、1985年のつくば科学万博は3Dやオムニマックスなどの最新テクノロジー映像博とも言われました。2005年の愛知万博では、地球的課題を解決するための理念提唱型ヘシフト。一方で、2015年の日本館にはチームラボの猪子寿之さん、ライゾマティクスの齋藤精一さんといったデジタルテクノロジー表現者の存在で演出手法が大きく変わりました。これからの博覧会は、さらに新しいテクノロジーやクリエイティブ人材を取り込み、他のイベントやスペース開発に新機軸をもたらすものにならなければと強く思います。たとえば、ドバイ万博では、空間を超え、5Gなどの次世代通信技術を活用したサテライト会場の展開などにもチャレンジしたいですし、アイデアソン、ハッカソンなどを展開し、多様な主体の参画の余地を広げオールジャパンの体制で日本館を企画していきたいと思っています。これまで以上にさまざまな役割の方のスキルが必要となりますし、色々な方とつながる機会にしたいですね。

空間創造のプロフェッショナル
株式会社 丹青社
〒108-8220 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス19F
TEL | 03-6455-8100(代表) URL | www.tanseisha.co.jp
札幌・仙台・新潟・名古屋・京都・大阪・福岡・那覇・北京・上海

こころを動かす空間をつくりあげるために。

世界に、喜びと感動を

株式会社 乃村工藝社
本社 東京都港区台場2-3-4 TEL : 03-5962-1171 (代表)

博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。

飯田電機工業株式会社
http://www.iidae.co.jp/

- イベント事業本部 〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-21 TEL 03-3521-3522 FAX 03-3521-3524
- 千葉事業所 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田2-38 幕張ビル TEL 043-273-2441 FAX 043-273-2531
- 池袋サンシャイン事業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館3F TEL 03-3982-9551 FAX 03-3982-9564
- 大阪事業所 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル TEL 06-6543-2880 FAX 06-6543-2884
- インテックス大阪事業所 〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102 インテックス大阪内 TEL 06-4703-5401 FAX 06-4703-5402
- 本社事業本部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 表参道IDAビル TEL 03-3409-3333 FAX 03-3409-0104
- 東北事業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17 仙台一番町ビル6F TEL 022-716-2077 FAX 022-716-2078
- 本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 TEL 03-3409-3331 FAX 03-3409-3827

EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

BACKSTAGEの歩き方

(仮題) 次の8月24日号で特集します

今年は私もステージに!

9月30日 スポーツ・興業イベント
10月31日 体験を可視化するマーケティングテクノロジー
11月30日 DMO/IR 地域を活性化するイベント
12月27日 先取り! 2019年のイベントトレンド
1月31日 イベントのマンパワー

広告出稿の間合せはこちら ▶ 株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp (担当: 田中力)

いま気になる!
企画の舞台裏

#03 株式会社ルシアン

ワークショップで拓いた 手芸への入り口



高木 由美子さん
株式会社ルシアン



『Quilts1989 / 100 ネエサン』特別ワークショップ』で完成したチャーム



マーケティング施策を再考している方にお届けするコーナー。キュレーションアプリ antenna* に掲載されたイベント企画仕掛け人の先輩に「なぜイベント?」「効果は?」と素朴な疑問を聞いていきます。

* * *

手芸用品やレース素材の製造・販売を行うルシアンでは、ポップアップショップ開催期間中にワークショップを行った。初の試みの狙いや効果とは。

Q 特別ワークショップを企画されたのはなぜですか

ワークショップを行ったLECIEN CREATIVE

SPACEは、偶数月に3日間開催するポップアップショップのような場所です。普段はこちらでお買い上げいただいた商品を使って、併設のフリースペースで刺繍糸使い放題・道具貸し出し有りで作業もしていただける販売&フリースペースのスタイルで展開しています。けれど、それですと元々手芸をやられている方や、ルシアンについてある程度よく知っている方しか集まらない。顧客層の拡大という意味合いも含めて、普段あまり手芸を行う習慣のない方々や、手芸未経験の方々にも楽しさを知ってもらいたい、私たちのことを知ってもらいたい、と企画しました。

Q ワークショップのテーマ「100 ネエサン」についても教えてください

今回取り上げた「Quilts1989 / 100 ネエサン」は、手芸への入り口としてとても適切なんです。たとえば布ペンで塗り絵のようにデザインをしたり、少しだけ刺繍をする、という楽しみ方もでき

ます。可愛らしく、人気も高く、初めての方でも自由に刺繍を刺していけるという点で、非常に入りやすい、未経験の方にはぴったりだと思いました。ご自身の発想の赴くままに、自由に作業を進めていただくことができます。小さな作品でも、できた時の達成感がありますし。そういったところから、次の作品を作ってみよう、じゃあもうちょっとやってみよう、という「次につながる気持ち」や「どんどん深まっていく気持ち」、「本格的に取り組んでみたいという気持ち」に繋がっていくのではないかと思います。

Q キュレーションアプリ「antenna*」とのコラボ企画でもあります。ねらいは

お店の立ち上げ時に想定していた顧客層が30~40代の方々だったのですが、実際は、もうプラス10歳くらいの年代の方々、という事実がありました。そこで、今来てくださっている方に加えて、もう少し若い層にも知っていただきたいという思いがありました。若

い方々は、感度の高さや購買意欲の高さという意味でもそうですが、SNSでの拡散力など、横の繋がりやインターネットを介した周知の部分でも、お客様として重要な層になる実感があつたので。antenna* ユーザーさんのメインの年代層が25~40歳くらいということで、ぴったりでした。

Q ワークショップイベントの評価は

想定していたよりも、結果として価値の高いイベントになったと思っています。ポップアップショップで本来販売に割けた分の場所と時間を使うという点で開催前はナーバスになる部分もありましたが、企画したイベントで参加者の方々に出会えた価値、そして先生と交流が実現した喜び、といった部分を今では大きく感じています。この満足度を長期顧客に繋げていくことができるのであれば、それはまた大きなひとつの価値ではないかな、と思っています。

図●「Quilts1989 / 100 ネエサン」ワークショップを提携メディアが取材・掲載→ antenna* 掲載



「手でつくる手芸は、スマホのサイズ感に合うコンテンツと考えています」(antenna* 広報担当者)
※スマホ画面は「みんなの暮らし日記 ONLINE」より

クラウドファンディングでイベント拡大 —— 丹青社ほか

丹青社とNPO法人THAP、イグニション・ポイントは、11月に福井県敦賀市で開催予定の「敦賀国際文化交流フェスティバル」の規模拡大に向け、クラウドファンディングサービス「Readyfor」を利用した資金調達を行う。多数のワークショップ開催のための目標金額は200万円。達成後は目標金額を上げ、留学生誘致費用に充てる。

次世代映像演出も —— タケナカ内覧会

映像制作のタケナカ、空間演出のシムディレクトなどのシムユニットグループが8月7日から3日間、大阪市港区の大阪本社で内覧会を実施する。同社の内覧会開催は、3年ぶりとなる。

映像パッケージ、デジタルアート、インタラクティブ、本紙前号で取り上げたHACOBUNEなど、次世代の映像演出を提案する。

賞金総額 6000 万円の e スポーツ大会も —— XFLAG PARK2018

ミクシィのXFLAG™ (エクスフラッグ) スタジオは、6月30日・7月1日の2日間、幕張メッセでゲーム・アニメ・音楽・スポーツなどのジャンル融合イベント「XFLAG PARK2018」を開催した。

2日目のメインコンテンツのひとつとして、eスポーツ大会「モンスターランプリ 2018 チャンピオンシップ」

を実施。大会には8チームが出場、いずれも日本eスポーツ連合からプロライセンスが発行されたプロチームのみで戦う。優勝は『今池壁ドンズa』で、優勝賞金3000万円のほか、ベストバトルショー賞金の100万円が贈呈された。

「XFLAG PARK2018」総責任者 田村征也氏は「『XFLAG PARK」



優勝決定の瞬間。「今池壁ドンズa」が2018年の王者に

はコンテンツマーケティングという側面からファンの皆さまに長く親しんでいただく要素として開催。またeスポーツ大会には今後興行化できるポテンシャルを感じている」と語った。

行きたい! 食べたい! 欲しい! が見つかるキュレーションアプリ

antenna* があなたのイベントを応援します!

イベント告知から集客、イベントレポートまでフルセットでご提供!

オプションも充実! インフルエンサーキャスティング・動画撮影・メディア誘致・データ納品など



実施事例も多数! お気軽にお問い合わせください
お問合せ先 antenna_sp@glider-associates.com



Venue
Event
Community

集い、交わる場 (中規模スペース・ベニュー/イベント主催者) を企画・運営するひとたちが集まって、べちゃくちゃおしゃべりしながら、よりよいベニューづくりを考えるコミュニティ

イベント市場規模16兆6490億円

——日本イベント産業振興協会

日本イベント産業振興協会(JACE)は、2017年(1月~12月)の国内イベント消費規模推計を発表。イベントに対する様々な支出(イベントの出発前支出、交通費、宿泊費、会場外での支出、イベント後の支出)を合わせた推計は16兆6490億円(前年比100.7%)となった。なかでも、「興業イベント」5兆6828億円(前年比134.9%)と高い伸びを示した。

JACEでは、平成24年より定期的にイベントに足を運ぶ生活者に対

象にした消費額を調査しており、その内容に基づいたイベント市場における消費規模推計を行っている。2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック/パラリンピック、2021年の関西ワールドマスターズゲームスと続く国際スポーツイベントゴールデンイヤーズ、その先の2025年大阪国際博覧会誘致の動きも活性化し、地方創生、企業マーケティングでイベントの活用がふえ、市場規模も拡大しそうだとの見解だ。

映像担当者が語り合う ——JVRA

7月20日、ホテルイースト21東京で日本映像機材レンタル協会(JVRA)が業務担当責任者会議を開催。全国から会員各社の実務担当者らが集まり、最近の業務事例や導入機材などの情報交換のほか、協会で視察ツアーを実施した海外映像関連展ISEとInfocommの報告としてパネルディスカッションなどを行った。



ISEについて語り合う

安田新体制で国際市場へ ——MPI Japan

MPI Japan Chapterは7月9日に通常総会を開催。ちば国際コンベンションビューローの安田弓(やすだ・ゆみ)氏が新会長に就任した。日本と国際市場と繋がる環境整備、協働作業基盤づくりを進める。

次期会長はメットライフ生命保険の保坂恵子氏となった。前会長の前野伸幸氏と名誉会長の山本牧子氏は、引き続き執行部をサポートする。



安田弓 新会長

VRのプロモ事例で特別企画

——第58回インターナショナルプレミアム・インセンティブショー秋2018

販売促進、マーケティングの国際的な専門見本市「第58回インターナショナルプレミアム・インセンティブショー秋2018」が9月4日から7日の4日間、東京ビッグサイトで開催される。

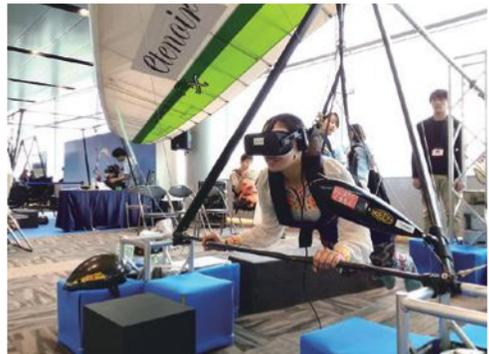
開催テーマは、「景気回復期における、販促・広告・集客・マーケティングを大公開」。これまでとは違う新しい販売戦略が求められるなか、消費行動を後押しし、接点を深いものにするソリューションとして、集客・販売を支援するSP企画やツール、最先端の印刷技術、POP関連商材など、最新のSP関連商材が集まる。出展規模は約200社。2月の開催時にも企業ユーザー、広告会社、SPエージェンシーを中心に、小売・流通関係者が来場したが、今回も東

京ギフト・ショーと同時開催することにより、既存来場者にプラスし、東京ギフト・ショーの来場者の取り込みが期待される。

また戦略・戦術的に優れたプロモーションを表彰する「第4回リテールプロモーションアワード」を会期中に発表。昨年はインバウンド対応の施策で訪日外国人向けにスマホでスタンプラリーを実施したそごう・西武や、手ぶらで買い物ができるニトリアプリなどが受賞している。

毎回は恒例の主催者による特別企画展示では、注目の販促キーワードを今回はVRとし、販促プロモーション・広告宣伝・広報PR活動に採用しているVRのプロモーション事例を展示・実演する。

本紙同梱の招待状持参者は無料。



本紙23号にも登場したハングライダー日本代表の鈴木由路選手が考案した「ハングライダーVR」を特別企画では体験できる

MICE 推進へ

——JCMA

日本コンベンション協会(JCMA)は、7月10日、田村明比古観光庁長官に「MICE国際競争力強化に関する提言」を提出。(写真は、左からJCMA坂井総務委員長・田村観光庁長官・JCMA武内代表理事・近浪副代表理事)。「MICE国際競争力強化に関する提言」には、MICE立国日本の実現のため、3つの取り組みや具体的施策が盛り込まれた。



また、7月12日には、JCMAとTAITRA(台湾貿易センター)のMOU調印式(写真左がTAITRA秘書長/TECA理事長Walter M.S. Yeh氏。右はJCMA武内代表理事)と交流イベントが行われ、日台MICE業界の関係者の親睦を深めた。



日本最大級のトレードショー!

第86回東京国際ナショナル

ギフト・ショー® 秋2018

テーマ:健康でアクティブな暮らし方への挑戦

第86回東京国際ナショナル

LIFE × DESIGN

テーマ:Enjoy the life you design !!

第58回国際ナショナル

プレミアム・インセンティブショー® 秋2018

テーマ:景気拡大期における、販促・広告・集客・マーケティングを大公開

第24回 グルメ&ダイニングスタイルショー® 秋2018
テーマ:人が集う、心がハッピーになるPREMIUM Dining Styleとは

第4回 プレミアムビューティー・ヘルスショー® 秋2018
テーマ:スポーツ&インナービューティーで美と健康

会期 2018 9/4(火) 5(水) 6(木) 7(金) | 会場 東京ビッグサイト(全館)

流通関係者のみ対象です。

招待状 お申込み受付中!
<http://www.giftshow.co.jp>

主催:(株)ビジネスガイド社 インターナショナル・ギフト・ショー事務局
TEL:03-3843-9851(直) FAX:03-3843-9850

当社は、主催者様と出展者様のパートナーとして、3つの専門チームが展示会成功に向けフルサポートします!

① 運営事務局チーム
出展申請業務、会場運営、併催イベント・セミナー運営

② 施工事務局チーム
全体装飾、小間管理、デザイン、出展者施工サポート

③ 海外事務局チーム
ネイティブを含む120名を超えるバイリンガルスタッフ

おかげ様で
ビジネスガイド様より
第43回から22年間
東京国際ナショナル・ギフト・ショーの施工事務局としてご用命をいただき、現在も第86回目の開催にむけて進行しております。



サクラ国際ナショナル株式会社

東京本部 〒135-0048 江東区門前仲町2-5-9 深川三和ビル4F
Tel: 03-5646-1160 URL: <http://www.sakurain.co.jp> 海外支店: ラスベガス、ニューデリー、上海、ドバイ...

北海道を使った社会実装実験



—No Maps

10月10日から14日までの5日間、札幌市内を中心に広域的に開催される「No Maps」。先端テクノロジーや斬新なアイデアなどを軸に、「新しい価値観」「新しい文化」「新しい社会の姿」を、会議、展示、興行、交流、実験の5事業を通じて提案する。特に重視しているのが実験事業。一例には北海道初となる民間海水魚類（サクラマス）陸上養殖への挑戦もあり、IoT・AIを付加した第一次産業の拡張などが試みられる。

6月28日の東京発表会でNo Maps 実行委員会委員長の伊藤博之氏（=写真）は「酪農や農業、漁業の産業や街に浸透するインターネットの推進は北海道的取組みの一つ。

北海道を使った社会実装実験をNo Mapsを通じてやっていく。プラットフォームとして場を提供し、イノベーションのハブとなる」と話した。

なお、30を超えるセッションが予定されるビジネスカンファレンスパス（ミートアップもフィルムもミュージックなど特典付き）が発売中。8月31日までは早割で通常8000円が5000円となる。



メディア総合イベントへ InterBEE 2018

11月14日から16日の3日間、幕張メッセで第54回2018年国際放送機器展（InterBEE 2018）が開催される。規模を拡大した昨年同様、国際展示場1～8ホール、国際会議場、イベントホールで展開。例年日本科学未来館で行われるデジタルコンテンツEXPOとの同時開催、新4K新8K衛星放送や5Gなど、メディア総合イベントを目指す3か年の2年目に注目が集まる。



7月19日の出展者説明会

IR 実施法案が成立

7月20日、参議院で特定複合観光施設区域整備法案、いわゆるIR実施法案が賛成166、反対72で可決した。議案には、国際会議の誘致を促進する施設の設置などの条件が盛り込まれており、日本MICE推進にも影響がありそうだ。

イノベントに社名変更

7月1日、外食ビジネスウィークなどを実施するトレードショーオーガナイザーズ(株)は社名変更し、「株式会社イノベント」（取締役代表執行役社長堀正人）に。

中山こずゑ氏が新社長に

6月27日、パシフィコ横浜を運営する横浜国際平和会議場の代表取締役社長に中山こずゑ氏が就任した。日産自動車勤務を経て横浜市文化観光局長などを歴任。

イベント・マーケター向け 8月のセミナー・イベント

1日
Bigbeat LIVE
@紀尾井カンファレンス

4・5日
Maker Faire Tokyo 2018
@東京ビッグサイト

22日
CATERING LIVE TOKYO
@AP新橋

24日
デジタルマーケターズサミット
2018 Summer
@ステーションカンファレンス東京

25・26日
C3AFA TOKYO
@幕張メッセ

28～30日
外食ビジネスウィーク 2018
@東京ビッグサイト

29日
BACKSTAGE 2018
@虎ノ門ヒルズフォーラム

次号予告 38号は8月24日発行
<特集>
BACKSTAGE2018の歩き方

体験型マーケティングに学び、出会う1日



「BACKSTAGE2018」第二弾を発表

「体験型マーケティングに学び、出会う1日」をテーマに、カンファレンス、体験型展示を展開する「BACKSTAGE2018」（8月29日、虎ノ門ヒルズフォーラム）のスピーカー第二弾が発表された。

話題のeSportsをテーマに登壇するのは、チーム運営や大会運営を行ってきた電通プロデューサーの菊地英雄氏、ビットキャッシュ/eスポーツコネクスト/JCG代表取締役社長の伊草雅幸氏、ウェルブレイド代表取締役/CEOの谷田優也氏の3者。eSportsを流行で終わらないためにやるべきことを紐解く。

また、さまざまな分野でコミュニティの存在感が増しているなか、行政でのコミュニティ創りを実践しているよんなな会発起人脇雅昭氏、高知県武市正人氏に、コミュニティマー

ケティングのためのコミュニティ = CMC_Meetup を立ち上げた小島英揮氏が切り込む。

そして、昨年のBACKSTAGEでの登壇をきっかけにコラボしたTAMARIBA代表取締役の牧野晃典氏と「日本一おにぎりを知る男」Tokyo Onigiri Labo代表の関克紀氏はおにぎりをめぐるイノベーションを熱く語る。

そのほか、未来型花火エンターテインメントとして注目された「STAR ISLAND」のクリエイターが挑む新メディアの展開といったテーマも予定している。

現在、早期割引料金でチケット申込みを受付中（8月3日まで）。セッションや出展者情報は公式ページ（<http://backstage.tours>）で順次、更新している。



株式会社電通
プロデューサー
菊地 英雄 さん



ビットキャッシュ株式会社/
eスポーツコネクスト株式会社/
株式会社JCG 代表取締役社長
伊草 雅幸 さん



ウェルブレイド株式会社
代表取締役/CEO
谷田 優也 さん



Still Day One 合同会社/
代表社員 パラレルマーケ
ター・エバンジェリスト
小島 英揮 さん



よんなな会発起人/神奈川県
観光・政策推進担当部長
脇 雅昭 さん



高知県 商工労働部
産業創造課 主幹
武市 正人 さん



株式会社 TAMARIBA
代表取締役
牧野 晃典 さん



Tokyo Onigiri Labo
代表
関 克紀 さん

BACKSTAGE

体験型マーケティングに学び、出会う1日

2018 .8.29
TORANOMON HILLS FORUM

<http://backstage.tours>

読者限定キャンペーン

20名様にチケット30%OFFキャンペーン実施

読者限定でBACKSTAGE2018チケット30%OFFでご提供いたします。ご希望者は、メール（右下QRコードに応募フォームあり）にてご連絡ください。

emnews@event-marketing.co.jp

件名：チケット応募

本文：「氏名」「企業・団体名」「所属部署」「役職」「関心あるテーマ・登壇者」を明記の上、ご応募ください。

*企業・団体の団体割引ご希望の方、上記メールアドレス宛にご連絡ください。

応募フォーム